



High Speed Camera system

光 I/F 高速カメラによる画像記録システム (リアルタイム処理 + 画像録画)

撮る。

VCC-10P1は、2/3型 SXGA CMOSイメージセンサを採用した光I/Fカメラです。Opt-C:Link 6.25Gbpsの広帯域伝送×2chの光通信によるデータ通信でH1024 x V1024切り出し時に1077fps、VGA 3477fpsで最大120000fpsを実現。光伝送により、高fps、耐ノイズ性能、150mの長距離伝送も可能。小型・軽量 高速度カメラとして幅広い可能性を持ったカメラです。

VCC-10P1



繋ぐ。

Opt-C:Link

カメラと入力ボードを光ファイバでつなぐインターフェース: Opt-C:Link (オプト・シー・リンク)「CameraLink」の弱点だった伝送距離の制限やノイズの影響を受ける環境での所用の難しさを解消する新しいインターフェースです。

高解像度・高速カメラのデータの長距離伝送(150m)を可能にします。転送速度も6.25Gbps×2chの通信速度に対応。ノイズに強く、画像データと制御信号も同じ光通信で実現でき省配線にも貢献します。

記録する。

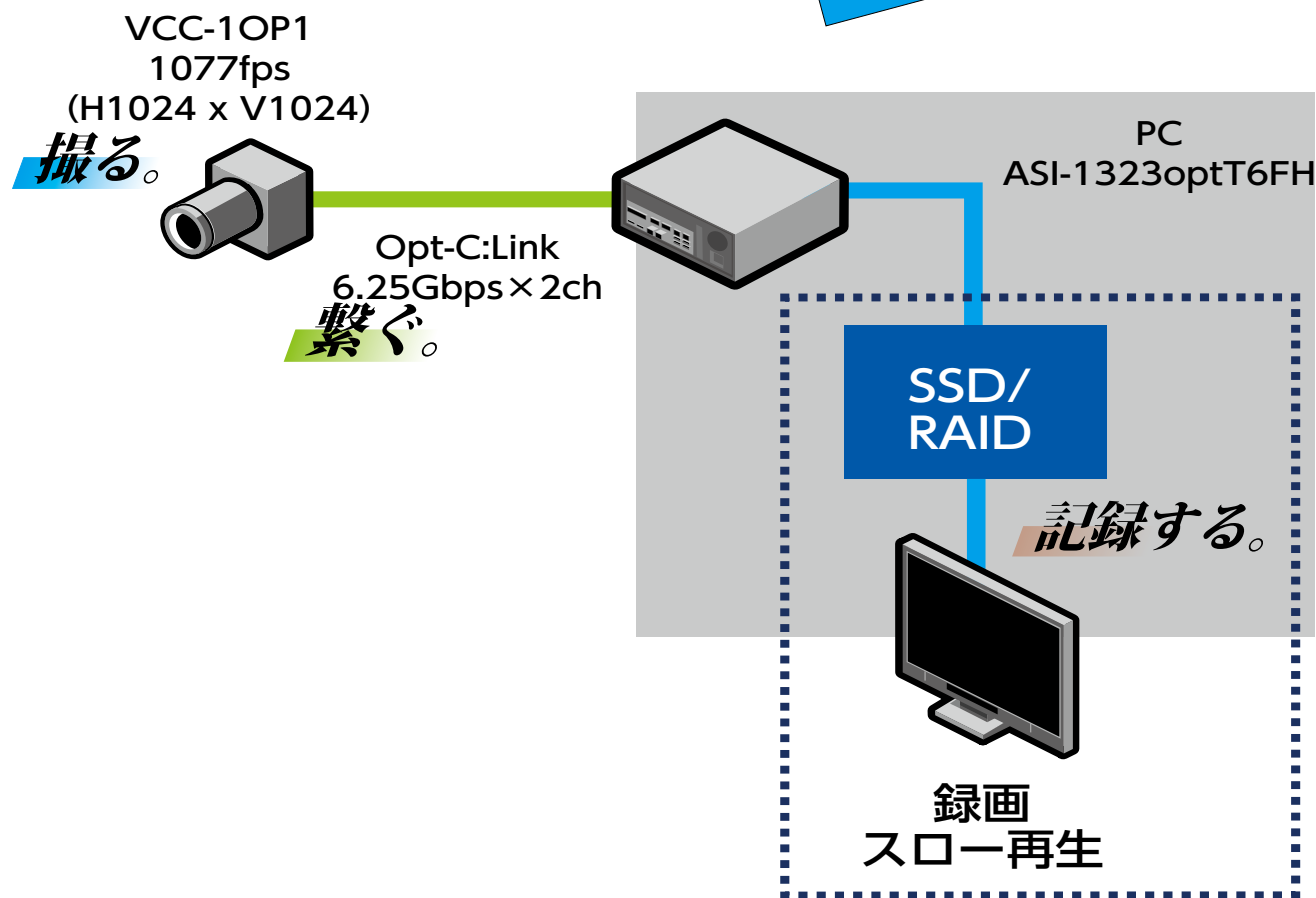
SSD RAID

光 I/F Opt-C:Link を搭載した小型ながら汎用機に引けを取らないパワフルな画像処理 BOX ASI-1323optT6 シリーズに SSD を使用した RAID を構築し、高速撮像される画像をリアルタイムに記録することが可能。RAID 容量により 1 時間以上の動画を記録することができます。



ASI-1300T6FH

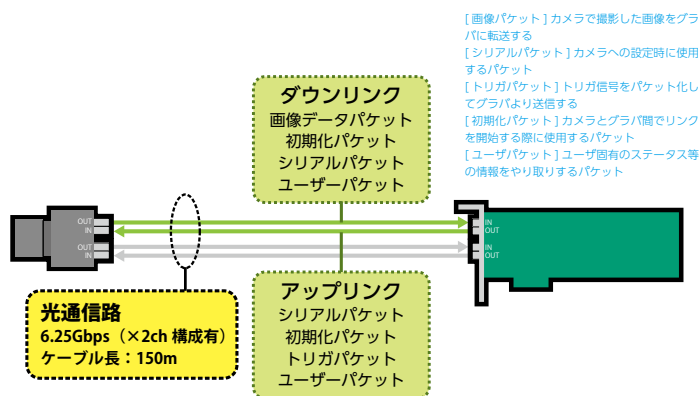
ハイスピードカメラリアルタイム録画システム



Opt-C:Linkとは

Opt-C:Linkは、光を媒体としたインターフェースです。Opt-C:Linkの転送プロトコルは、GiGA CHANNEL 技術をベースに、画像転送に特化した独自のプロトコルを採用しています。設計者は、FPGAに実装可能なOpt-C:LinkのIPを使用することができ、転送プロトコルを意識する必要はありません。入力ボードの他に既存のカメラリンクから変換するユニットも用意されています。

カメラと入力ボードの接続図を右に示します。入力ボードからカメラへの通信方向をアップリンク、カメラから入力ボードへの通信方向をダウンリンクと呼びます。通信速度は6.25Gbpsとなり、広帯域の画像データを扱う場合はDUAL 構成 (2チャンネルを使用して、ひとつの画像を転送する接続形態) で転送することも可能です。なお、アップリンクとダウンリンクの通信速度は同じ速度で使します。画像データ、トリガ、シリアル通信は全てパケット化され光回線を通してカメラとグラバ間でやり取りが行われます。



CIS

株式会社シーアイエス 八王子オフィス

〒192-0082 東京都八王子市東町9-8

八王子東町センタービル6F

TEL: 042-664-5568 FAX: 042-645-0441

E-mail: cisinfo@ciscorp.co.jp

URL: http://www.ciscorp.co.jp

AVAL DATA

株式会社アバールデータ

〒194-0023 東京都町田市旭町1-25-10

TEL: 042-732-1030 FAX: 042-732-1032

E-mail: sales@avaldata.co.jp

URL: http://www.avaldata.co.jp